

鎌倉時代の京都－「八條院町」を中心として－

公益財団法人 京都市埋蔵文化財研究所 上村和直

1. 鎌倉時代の京都

平安時代から鎌倉時代にかけて、政治都市平安京は、政治の変化や住民の活動によって次第に変容し、中世都市「京都」へと変貌をとげます。

鎌倉時代（12 世紀末～14 世紀）を中心にした京都の復元図を考古学の成果や文献史料で作ってみました（図 1・表 1）。併せて古代から中世の年表を載せました（表 2）。今回は「八條院町」を中心として町のようにすが平安時代からどう変わっているのかを感じてみて下さい。

2. 「八條院町」のようす

現在の京都駅周辺には、鎌倉時代から室町時代にかけて、「八條院町」と呼ばれる町が広がっていました。院町は、平安時代後期に造られた八條女院（鳥羽天皇息女、藤原暲子内親王）の御所・院庁・御倉を中心として展開し、正和二年（1313）には後宇多上皇により東寺に寄進されます。

この町は、鎌倉時代後半から室町時代前半（13 世紀中頃～15 世紀前半）にかけて、商工業を中心として栄えていました。住民には農民や東寺で働く人をはじめ、商人や職人など色々な人々が暮らしていました（図 3）。

「八條院町」とその周辺では、これまで数十回の発掘調査が行われ、町内の様相が明らかになりつつあります（図 2・表 3）。

3. 左京八条三坊十四町について

左京八条三坊十四町は、「八條院町」の北東部にあたります（図 2・表 5）。1997 年に行った調査（京都駅北東側メルパルク京都）[No.37]を中心にして、町屋と生活の様子を見てみましょう（図 4）。

調査区の南西部では逆 L 字形の溝 472 を検出しました。この溝の北側と東側は、溝と掘立柱の塀・柵によって区切られます。区画の中では、柱穴・井戸・水溜め・土坑などを検出しました。柱穴は小さく、小規模な建物と考えられます。土坑は土器などを捨てたゴミ穴が大部分です。土器は、磁器類は少なく大半は土師器です。

四町内は東洞院大路に対しては東西方向に、八条坊門小路に対しては南北方向に、宅地がつくられます。各宅地は、道路に面して幅が 7 ～ 11m、奥へ 20 ～ 23m ぐらいの短冊形です。宅地内には通りに面して主屋や店が推定でき、その奥に小屋・井戸・ゴミ捨て穴などがあり、さらに中心部は空き地になっています。町割りの溝・塀は、平安時代の土地区画の四行八門制（一町を 32 分割する）にほぼ相当しています。東寺の文書（百合文書など）と合わせ、中世京都の町屋の様子が具体的に明らかになりました（図 7）。

4. 八條院町の手工業生産

これまでの調査では北西部の 22 ヶ所で鑄造関係遺物（鑄型・坩堝・鑪）が出土し、なかでもその北東部に偏っています。さらに、鑄型の種類よって分布が異なります（図 11 ～図 15）。炉などの生産遺構は 18 ヶ所で検出し、八条坊門小路・室町小路沿いの宅地表側に位置します。

また、東寺の町内年貢帳には、薄箱屋・ヘニヤ（紅屋）・タウフヤ（當布屋）・完屋（わんや）・笠屋などの店舗、丹屋・ヌシヤ（塗師）・ヒワタヤ（檜皮）・玉スリ・ハクヤ（箔屋）・カミヤ（紙屋）・檜屋・綿屋などの手工業者工房、ミソ三郎・金屋分阿ミ・番匠三郎・コウヤノ次郎・石御前・油興一・餅右衛門・蒔絵兵衛・塩四郎などの屋号が見られます（図 6・図 8）。

各種の店舗は八条三坊十一町・十四町の南北通沿いに多く、漆工関係者は町城南東域に偏ります。鑄造関係は町城北西域に推定でき、職種によって住み分けられていたことが分かります。一方、八條院町北側に隣接する七条町では七条仏所が営まれ、土倉・借上が活動していました（図 9・図 10）。

八條院町と七条町は、三条町・四条町と並んで京都の職人町を形作っており、生産活動や商業活動を行う町へ変化した様子をよく表しています。

① 洛北地域	┌――愛発関――北陸道 大宮大路末――大原道――竜華関――若狭国
② 洛西地域	┌ 一条街道――若狭国 一条大路末――御室――亀山殿
	二条大路末――大井津……大堰川……丹波国
	七条大路末――山陰道(大枝路)――大枝関――丹波国――丹後国
③ 洛東北部地域	┌……琵琶湖……塩津――愛発関――北陸道 二条大路末――白河殿――栗田口――山科――逢坂関――大津――草津――鈴鹿関――東海道 : └――不和関――東山道
④ 洛東南部地域	六条大路末――六波羅――久々目路――山科 : 七条大路末――法住寺殿――滑石越――山科 : └大和大路(宇治路)――宇治――大和国 └宇治津……巨椋池……淀川……瀬戸内海
⑤ 洛南地域	九条大路――左比川橋――山陽道(西国街道)――山崎 └――八幡――南海道 朱雀大路――鳥羽作道――鳥羽殿――久我殿――久我堰――山崎――水無瀬殿――山陽道(播磨大路) └鳥羽津……鴨川……淀津……山崎津……淀川……瀬戸内海

表 1 平安～中世の京都主要交通網 【ゴシックは市街地、――：陸路、……：水路】

表 2 中世の京都略年表〔上村和直2022〕

西 暦	天 皇	上 皇	将 軍	京 内		京 外	主要事項
				八條院町	京 中		
平安 後期 前葉	1086 堀河	1086 白河		この頃、平頼盛・藤原顕秀の邸宅営まれる。	天元5年(982)10慶滋保胤『地亭記』を著す。	承暦元年(1077)12.18法勝寺金堂他供養〔供養記〕。	永延2年(988)「京・京洛・京都」の初見〔尾張国解文〕。
					応徳3年(1086)6.26西京内三百余町の草を刈る〔扶桑略記〕。1095嘉保2年(1095)4.4頃から、条坊表示から大小路名表記に変わる〔平安遣文亮券〕。	応徳3年(1086)頃、藤原季綱の鳥羽山荘に後院(鳥羽殿)造営、あたかも遷都の如し〔扶桑略記〕。	1086白河上皇院政開始。嘉保2年(1095)「東朱雀大路」初見〔中右記〕。
					この頃『新猿楽記』や『今昔物語』成立。	康和4年(1102)7.21尊勝寺供養〔中右記〕。天永3年(1112)この頃、平家(正盛)が六波羅邸宅造営〔百合文書〕。	嘉承2年(1107)「朱雀川」初見〔中右記〕。
後期 中葉	1123 崇徳	1129 鳥羽		この頃、美福門院(藤原得子)が八条東洞院御所を営なむ []。	長承3年(1134)5.17鴨川・桂川・西洞院川氾濫し京中洪水〔中右記〕。	保延3年(1137)10.15鳥羽東殿安楽寿院供養〔百練抄〕。	1129鳥羽上皇院政開始。1132平忠盛内昇殿許さる。
					永治元年(1141)に鳥羽上皇所領の9箇所を美福門院、12箇所を八条女院(藤原暲子内親王)に譲与。美福門院死後全て女院領となる〔玉葉〕。	康治元年(1142)6.18坊鴨河使任命、同9.2鴨川氾濫、鴨水東の貴賤の輩流失〔本朝世紀〕。保元二2年(1157)3.26信西平安宮再建〔兵範記〕。	仁平4年(1154)8.7鳥羽金剛心院供養〔兵範記〕。
					1140	1141近衛 1155後白河	1156保元の乱。
後期 後葉	1158 二条	1158 後白河		治承2年(1178)4.24次郎焼亡、七条東洞院付近火災〔清鯉眼抄〕。治承4年(1180)4.1八条西洞院付近火災あり〔清鯉眼抄〕。	仁安3年(1168)10.5宮城・朱雀大路の溝渠開掘、京内道路の田畝耕作を檢非違使をして禁じる〔兵範記〕。	永暦2年(1161)4.13法住寺南殿造営〔山槐記〕。長寛2年(1164)12.17蓮華王院御堂供養(清盛造進)〔百練抄〕。	1158後白河上皇院政開始。1159平治の乱。
					安元3年(1177)4.28京中大火(太郎焼亡)あり〔玉葉〕。治承2年(1178)4.24京中大火(次郎焼亡)あり〔清鯉眼抄〕。	元暦2年(1185)7.9大地震の為、六勝寺被害を受ける〔玉葉〕。	1167平清盛太政大臣となる。
					1180安德 1183後鳥羽	1181後白河	1180源頼朝鎌倉で挙兵。1185平氏壇ノ浦で滅亡、守護・地頭設置。
鎌倉 前葉	1192 土御門	1198 後鳥羽	1192頼朝	建暦元年(1211)6.26八条女院死去。	建久2年(1191)3.28京内道路の耕作・巷所を企てることを禁止〔三代制府〕。	建仁三年(1203)頃に重源が栢杜堂造営〔作善集〕。	1192後白河死去。源頼朝征夷大將軍となる。
					建暦元年(1211)6.26八条女院死去。	正治二年(1200)後鳥羽上皇が水無瀬殿を離宮とする〔玉葉〕。建仁2年(1202)に栄西が建仁寺建立〔元亨釈書〕。承元2年(1208)5.15法勝寺九重塔焼亡〔百練抄〕。	1199頼朝死去。頼家家督相続。13人合議制。1205北条義時執権。
					1200	1210順徳	1205北条義時執権。
鎌倉 後葉	1221 仲恭 1221後堀河	後高倉・後堀河・後嵯峨	1202頼家・実朝	嘉禄元年(1225)11.11八条旧跡荒廢、民家あり〔明月記〕。文暦元年(1234)8.3七条町火災あり。土倉数知らず、繁栄する〔明月記〕。	健保元年(1213)12.29京都大火焼亡〔明月記〕。天福元年(1233)12.4西寺塔焼亡で廃絶〔百練抄〕。嘉禎4年(1238)5.24幕府京中に壽屋設置〔百合文書〕。	建暦3年(1213)4.26栄西が法勝寺九重塔再建〔明月記〕。嘉禎元年(1235)に九条道家が東福寺建立〔東福紀年祿〕。	1221承久の乱、六波羅探題設置。1227後鳥羽上皇死去。1232関東御成敗式目制定。

1250 鎌倉 後葉	1274 龜山	後醍醐	嘉元三年(1305)に龜山法皇により後宇多天皇に渡る。正和二年(1313)12.7後宇多上皇が院町13箇所を東寺に施入〔八條女院町注文状〕。元應元年(1319)6.8院町年貢帳作成〔百合文書〕。	文永11年(1274)一遍入京、時宗を創始〔一遍聖絵〕。	建長7年(1255)10.27後嵯峨上皇が龜山殿造営〔歴代皇紀〕。正応四年(1291)に、龜山法皇が南禅寺造営〔南禅寺記〕。	1246院評定制開始。1274文永の役。1281弘安の役。1297永仁の徳政令。
1300				建武二年(1335)8二条河原の落書掲げられる〔建武年間記〕。	建武二年(1335)後醍醐天皇が臨川寺造営〔臨川寺文書〕。	1321後醍醐天皇院政を廃止、親政開始。1333鎌倉幕府滅亡。1334建武の新政。
1338 室町 前葉				建武元年(1337)院町年貢散用帳作成〔百合文書〕。建武五年(1338)院町地子帳作成〔百合文書〕。延文二年(1357)4.3院町注進状作成〔百合文書〕。貞治元年(1362)11.21院町注進状作成〔百合文書〕。	建武元年(1337)院町年貢散用帳作成〔百合文書〕。建武五年(1338)院町地子帳作成〔百合文書〕。延文二年(1357)4.3院町注進状作成〔百合文書〕。貞治元年(1362)11.21院町注進状作成〔百合文書〕。	1338足利尊氏征夷大將軍となる。1341天龍寺船を元に派遣。
1350	(南北朝)1392	1338 尊氏	義満	至徳四年(1387)5.20院町支配帳作成〔百合文書〕。	永和四年(1378)3.10足利義満が室町新第(花の御所)造営〔後愚昧記〕。	1350観応の憂乱。
1400					永徳二年(1382)10.3足利義満が相国寺造営〔空華日用工夫略集〕。応永4年(1397)4.16義満が北山第(鹿苑寺)造営〔大乘院日記〕。	1392南北朝合一。1394足利義満太政大臣となる。1399応永の乱。
1450					応永二十六年(1419)頃、洛中洛外の酒屋347軒となる。正長元年(1428)に、正長の土一揆〔百合文書〕。寛正三年(1462)9.21土一揆京都に乱入、30余町焼亡〔大乘院雜事記〕。	1401義満遣明船派遣。1404勘合貿易の開始。1419応永の外寇。1441嘉吉の変。
1467	1500 室町 後葉	1550	永正十四年(1517)に院町荘となる〔仏事方布施支配状集〕。	応仁・文明の乱(1467～77)頃から院町は農村化する。文明九年(1477)9.22応仁の乱収束〔親長卿記〕。	文明十二年(1480)8.28蓮如が山科本願寺造営〔蓮如伝記〕。文明十七年(1485)に足利義政が東山殿(慈照寺)造営〔陰涼軒日録〕。	1467～1477応仁の乱。1485山城国一揆。
1500 室町 後葉					明応三年(1494)7.6下京大火〔御湯殿日記〕。	1536天文法華の乱。
1550					永禄十二年(1569)2.2足利義昭が新邸(二条御所)造営。元亀二年(1571)頃、京都の町数、上京47町、下京50町あり〔立入宗継文書〕。	1559信長將軍に謁す。1568信長足利義昭を奉じて入京。
1573 桃山 時代				天正十四年(1586)2.21秀吉が聚楽第造営〔言経卿記〕。天正十八年(1590)に、秀吉洛中に町割(天正地割)実施〔町屋旧事記〕。天正十九年(1591)①より、御土居造営〔信尹公記〕。	文禄三年(1594)に、豊臣秀吉が伏見城造営着手〔駒井日記〕。文禄五年(1596)頃から方広寺造営〔義演准后日記〕。	1573室町幕府滅ぶ。1590豊臣秀吉統一

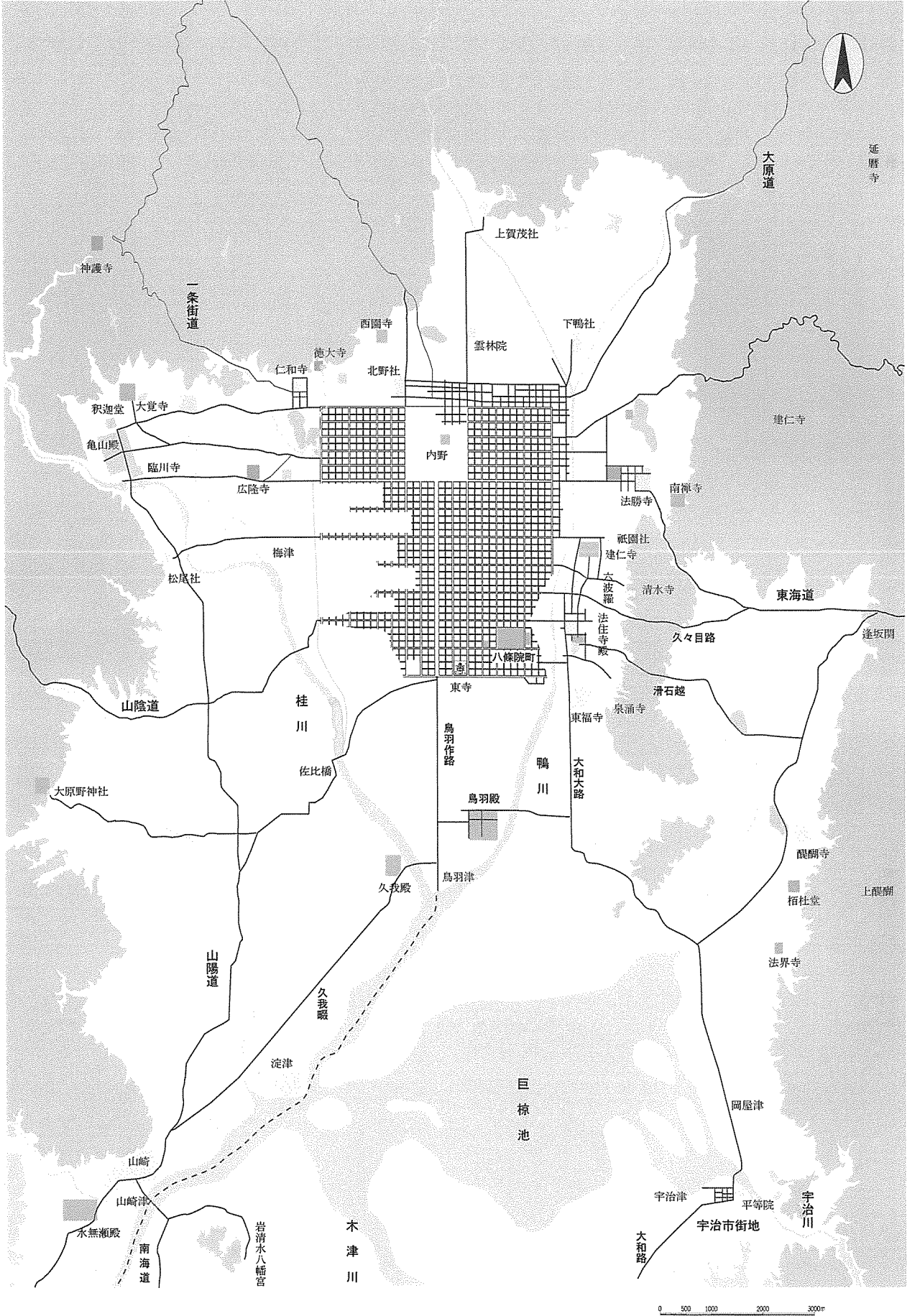


図 1 鎌倉時代の京都(1 : 10000) 〔上村和直2022〕

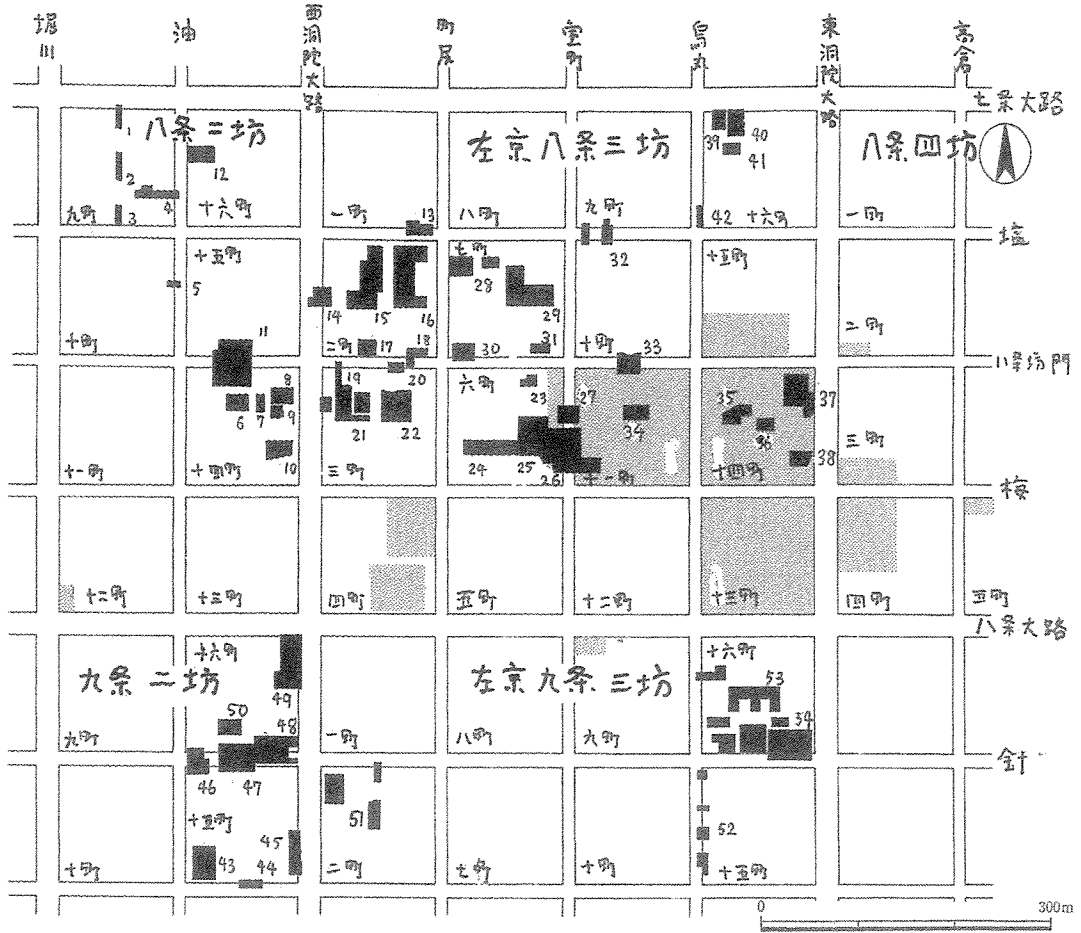


図 2 平安京左京八条三坊付近 調査地位位置図 (1:5000)

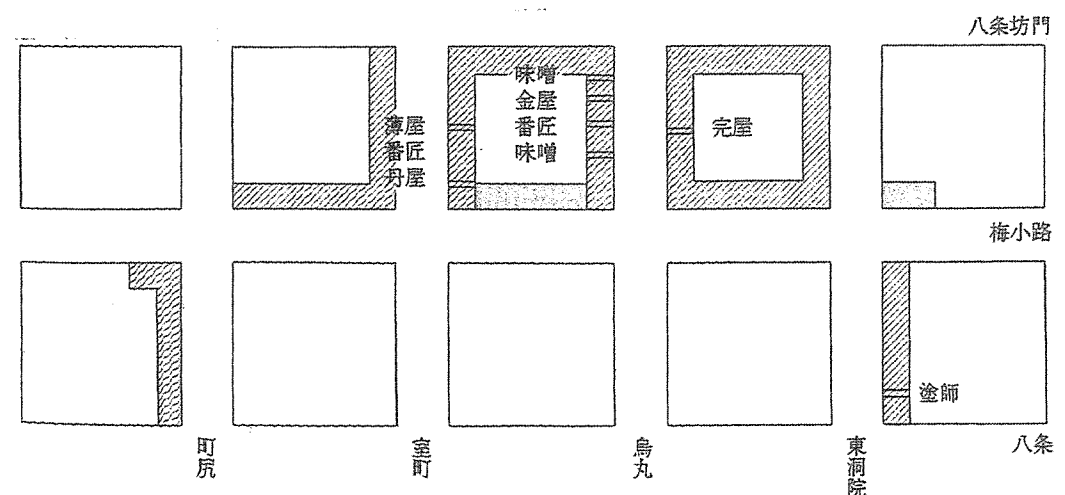


図 3 八条院町の地図

表3 左京八条三坊近辺主要調査一覧表-1

No.	推定地	調査地	調査機関・調査年	検出した遺構	出土した遺物
1	八条二坊九町	堀川通油丸屋町～油小路町	平安京〔小森〕1985年	九町中央北部の調査。平安前期～中期の包含層、鎌倉以降の土壌・柱穴・井戸検出。	
2		同上	同上	九町中央部の調査。平安中期の町内南北道路、鎌倉以降の土壌・柱穴を検出。	
3		堀川通木津屋橋～塩小路	平安京〔小森ほか〕1986・87年	九町南側中央部の調査。平安中期～後期の道路、鎌倉以降の井戸・土壌・柱穴を検出。	
4		油小路町(井筒ビ ^ル)	市埋文〔上村ほか〕1985年	九町南東部の調査。平安～近世の油小路・西側溝、鎌倉～室町の土壌・井戸・柱穴を検出。	
5	八条二坊十町・油小路	北不動堂町(八木食品)	市埋文〔堀内ほか〕1982年	十町東側中央部の調査。平安～室町の油小路・西側溝、井戸・溝・土壌・柱穴を検出。室町の東西区画溝・土壌・柱穴検出。	室町の土壌から鋳造関係遺物(鋳型・埴塙等)が出土。
6	八条二坊十四町	東油小路町(近畿建設局)	市埋文〔加納ほか〕1997～98年	十四町中央部の調査。室町前期～中期の柱穴・土壌・井戸・溝、木棺墓を検出。	
7		東油小路町	市埋文〔近藤章〕	十四町東側北東部の調査。平安前期の東西溝・土壌、後期の南北溝、鎌倉の井戸、室町の木棺墓・犬墓・柱穴を検出。	土壌から鋳造関係遺物(鋳型、埴塙、砥石等)が出土。
8		東油小路町	市埋文〔東ほか〕1996年	十四町東側北東部の調査。平安前期の池、後期の南北溝、鎌倉～室町の東西柵列・柱穴・土壌・井戸・木棺墓を検出。	鋳造関係遺物(鏡・仏具鋳型、埴塙、韃羽口、砥石等)が出土。
9		東油小路町	市埋文〔南出ほか〕1997年	十四町東部中央の調査。平安後期の南北溝、鎌倉～室町の土壌・井戸を検出。	井戸・土壌から鋳造関係遺物(鏡鋳型・埴塙)が出土。
10		東油小路町内(ハローワーク)	市埋文〔百瀬〕1995年	十四町南東部の調査。平安前期の土壌・平安後期～鎌倉中期の南北区画溝・井戸・柱穴・土壌を検出。鎌倉後半～室町前半の井戸・柱穴・土壌を検出。室町後半の耕作溝を検出。	鎌倉の井戸から鋳造関係遺物(銅鏡破片、鏡鋳型、韃羽口)が出土。
11	八条二坊十四町・十五町・八条坊門小路	南不動町(お ^ハ ^ン)	市埋文〔鈴木廣〕1997～98年	十四町北部中央・八条坊門小路・十五町南部中央の調査。平安後期～室町初期の八条坊門小路を検出。平安後期の南北溝・井戸、鎌倉～室町の土壌・柱穴・井戸・炉跡を検出。	鎌倉後半の鋳造関係遺物(刀装具・仏具・鏡・銭貨鋳型、埴塙、韃羽口、屏風、砥石、鉾滓)が出土。
12	八条二坊十六町	油小路町(木津屋橋武田病院)	市埋文〔木下〕1987年	十六町西部中央部の調査。平安の土壌・井戸・池・溝、鎌倉～室町の井戸・土壌・柱穴を検出。	鎌倉～室町の土壌から鋳造関係遺物(埴塙、銅製品)が出土。
13	八条三坊一町	東塩小路町(第3ター ^ホ ^ル)	市埋文1977～78年	一町南東隅部の調査。古墳～平安の流路を検出。平安後期の井戸・建物、鎌倉後半～室町の井戸・土壌・墓を検出。	鎌倉の鋳造関係遺物(鋳型・埴塙等)が出土。
14	八条三坊二町	東塩小路町(下京区役所)	市埋文〔丸川〕1978年	二町西部・西洞院大路の調査。江戸の西洞院川を検出。	
15		東塩小路町(日生三哲ビ ^ル)	古代学〔定森ほか〕1984年	二町北中央部の調査。平安前期～中期の流路を検出し後期に埋める。平安後期～鎌倉の溝・井戸・柱穴・土壌・埋甕・木棺墓・土壌墓を検出。	鎌倉～室町の銭貨埋納施設から銭貨出土。
16		東塩小路町(関電ビ ^ル)	古代学〔飯島ほか〕1979～80年	二町北東部の調査。平安前期～中期の流路を検出し後期に埋める。平安後期～鎌倉前半の井戸・柱穴・土壌、後半の井戸・柱穴を検出。	平安中期～鎌倉後半(14世紀前半)の鋳造関係遺物(刀装具・仏具鋳型、埴塙、羽口等)が出土。
17		東塩小路町(武田病院)	市埋文1988年	二町南中央部の調査。詳細不明。	
18		東塩小路町(中央郵便局)	市埋文〔浪貝〕1977年	二町南東部の調査。平安後期頃の八条坊門小路北側溝・井戸を検出。	
19	八条三坊三町・八条坊門小路	塩小路町(武田病院)	市埋文〔上村憲〕1997～98年	三町北西部の調査。平安前期の土壌・八条坊門小路、鎌倉～室町前半の井戸・土壌・柱穴を検出。	

表3 左京八条三坊近辺主要調査一覧表-2

No.	推定地	調査地	調査機関・調査年	検出した遺構	出土した遺物
20	八条三坊三町・八条坊門小路	東塩小路町(中央郵便局)	市埋文1979年	詳細不明。	
21	八条三坊三町	東塩小路町(京都市)	市埋文〔上村憲〕1997～98年	三町北西部の調査。平安前期～後期の土壌・溝、鎌倉～室町前半の井戸・溝・土壌・埋甕・柱穴を検出。	鎌倉～室町の土壌・井戸から鋳造関係遺物(鋳型、埴塙、韃羽口)が出土。
22		東塩小路町(京都駅地下駐車場)	市埋文〔鈴木廣ほか〕1994年	三町北東部の調査。平安中期の流路を検出。平安後期～鎌倉の区画溝・井戸・土壌・柱穴、室町の井戸・土壌・溝・柱穴・石敷遺構を検出。	鎌倉～室町の土壌・井戸から鋳造関係遺物(鏡・銭・刀装具・仏像鋳型、埴塙、銅滓、韃羽口)が出土。
23	八条三坊六町・八条坊門小路	東塩小路町(ホ ^ル タ6次)	市埋文〔山本〕1996年	六町北東部の調査。平安後期に整地、八条坊門小路を造る。鎌倉～室町前半の井戸・土壌・柱穴・東西溝を検出。	鎌倉～室町の鋳造関係遺物(鏡鋳型・韃羽口・埴塙・銅滓等)が出土。
24	八条三坊六町	三哲(大阪鉄道郵便局)	市埋文〔大矢ほか〕1982年	六町中央部の調査。平安後期の土壌、鎌倉の土壌、室町の南北溝を検出。	
25		東塩小路町(京都駅ビ ^ル 1次調査)	市埋文〔網〕1993年	六町南西部の調査。鎌倉～室町の井戸・土壌・溝・柱穴を検出。	鎌倉～室町の鋳造関係遺物(六器・華瓶鋳型、埴塙等)が出土。
26	八条三坊六町・十一町・室町小路	東塩小路町(京都駅ビ ^ル 2～3・5～7次)	市埋文〔網ほか〕1993～95年	六町中央部・室町小路・十一町南西部の調査。平安中期～後期の流路・井戸を検出。平安後期に整地し室町小路を造る、鎌倉に舗装。六町・十一町では、鎌倉～室町初頭の建物・井戸・土壌・縦穴状遺構、東西通路・柵列を検出。十一町では炉を検出。	鎌倉～室町の鋳造関係遺物(鏡・仏具鋳型、韃羽口、埴塙、銅滓、水銀、砥石等)が出土。
27		東塩小路町(ホ ^ル タ3次)	市埋文〔吉川ほか〕1978～79年	六町・十一町の調査。室町小路路面・東側溝、室町の井戸を検出。	
28	八条三坊七町	東塩小路町(関電ビ ^ル)	京都文化財団〔鈴木忠ほか〕1987年	七町北西部の調査。平安中期～後期の井戸・土壌、鎌倉の溝・井戸・柱穴・土壌を検出。鎌倉後半～室町の井戸・柱穴・集石遺構・埋甕・土壌・溝・銭貨埋納・土壌墓を検出。	鎌倉～室町の遺構から鋳造関係遺物(鋳型、砥石、鉾滓等)が出土。
29		東塩小路町(新阪急 ^ホ ^テ ル)	市埋文〔鈴木廣〕1978年	七町北東部の調査。平安前期～中期の流路・井戸・土壌を検出。鎌倉前期の溝・井戸・土壌、鎌倉後期～室町の溝・井戸・土壌・柱穴・炉跡・墓を検出。	鎌倉～室町の土壌から鋳造関係遺物(銭・仏具鋳型等)が出土。
30		東塩小路町(日生ヤ ^カ ビ ^ル)	平安京〔小森ほか〕1985年	七町南西隅部の調査。奈良～平安中期の井戸、平安後期～鎌倉の柱穴・土壌・井戸等を検出。鎌倉～室町の八条坊門小路北側溝・柱穴・土壌・井戸・鋳造遺構を検出。	
31		東塩小路町(ホ ^ル タ6次2区)	市埋文1996年	七町南東部の調査。平安前期～中期の流路を後期に整地。平安後期～鎌倉の井戸・土壌・柱穴、室町の井戸・土壌・柱穴・南北溝を検出。	鎌倉～室町の鋳造関係遺物(鏡・銭貨鋳型)が出土。
32	八条三坊九町・十町・塩小路	東塩小路町(近鉄百貨店)	古代文化〔家崎〕1995年	九町南西部・十町北西部の調査。平安後期～室町の塩小路を検出。平安後期～室町の井戸・土壌・柱穴を検出。	平安後期～室町の土壌・溝から鋳造関係遺物(鏡・三鈷杵鋳型、埴塙)が出土。
33	八条三坊十町・十一町	東塩小路町(ホ ^ル タ2次)	市埋文〔吉川ほか〕1978～79年	十町・十一町の調査。平安時代の八条坊門小路・両側溝を検出。	
34	八条三坊十一町	東塩小路町(ホ ^ル タ4次)	同上	十一町中央部の調査。詳細不明。	
35	八条三坊十四町	東塩小路町東塩小路町(中央郵便局)	鳥丸線〔小森ほか〕1997年	十四町中央部の調査。平安以前の流路を平安後期に整地。平安後期の土壌、鎌倉～室町前半の東西溝・土壌・井戸を検出。	
36		鳥丸通塩小路下ル東塩小路町(ホ ^ル タ1次)	市埋文〔吉川ほか〕1978～79年	十四町中央部の調査。平安の包含層、鎌倉末～室町の南北溝・柱穴を検出。	
37		東塩小路町(近畿郵政、メルパルク京都)	市埋文〔上村ほか〕1996年	十四町北東部の調査。平安後期以前の湿地を後期に整地。平安後期～鎌倉の東洞院大路溝・区画溝を検出。鎌倉後半～室町前半の建物・柱穴・井戸・土壌・縦穴状遺構・埋甕を検出。室町の溝・柱穴・土壌を検出。	鎌倉～室町の漆器埋納土壌から漆器出土。

表3 左京八条三坊近辺主要調査一覧表-3

No.	推定地	調査地	調査機関・調査年	検出した遺構	出土した遺物
38	八条三坊十四町	東塩小路町(京都駅ビル4次調査)	市埋文〔百瀬ほか〕1994年	十四町南東部の調査。平安中期以前の湿地を後期に整地。鎌倉の区画溝・土壇・柱穴・井戸・縦穴状遺構、室町の井戸・土壇・柱穴を検出。	
39	八条三坊十六町・七条大路	芋屋町	市埋文〔平尾〕1990年	十六町北西部の調査。平安前期～鎌倉の七条大路路面・南側溝、平安～江戸時代の井戸・土壇・柱穴・東西溝を検出。	
40		真芋屋町	市埋文〔木下〕1990年	十六町北西部の調査。古墳の流路を、平安前期～中期に整地。平安中期～鎌倉の七条大路・南側溝を検出。平安中期～後期の溝・井戸・柱穴・土壇、鎌倉～室町の井戸・井戸状遺構・土壇・柱穴・溝を検出。江戸の井戸・土壇・建物基礎を検出。	鎌倉～江戸時代の鑄造関係遺物(鑄型、埴塼、轆羽口、砥石等)が出土。
41	八条三坊十六町	東塩小路町	市埋文〔上村憲ほか〕1986年	十六町北西部の調査。平安前期～中期の井戸・土壇・柱穴・溝、平安末期～室町の埋甕・建物・井戸・土壇・区画溝を検出。	
42		東塩小路町	平安京〔大矢ほか〕	十六町南西隅西側の調査。平安前期～中期の包含層、後期の井戸・土壇、鎌倉～室町前期の溝・土壇・柱穴を検出。	
43	九条二坊十五町	鳥居口町	市埋文1991年	十五町南西部の調査。御土居堀を検出。	
44		鳥居口町	市埋文〔菅田〕1990～91年	十五町南側中央部の調査。攪乱のため遺構は未検出。	
45		鳥居口町	同上	十五町東側中央部の調査。平安後期の区画溝、鎌倉の井戸を検出。	
46	九条二坊十五町・十六町・針小路	鳥居口町	市埋文〔菅田〕1991～92年	十五町北西部・十六町南西部・針小路の調査。御土居堀を検出。	
47		鳥居口町(イオン)	市埋文〔菅田ほか〕1992～93年	十六町南側中央・針小路の調査。平安後期～鎌倉の針小路側溝を検出。平安前期の建物、鎌倉～室町の区画溝・井戸・柱穴・土壇を検出。	
48		鳥居口町(イオン)	市埋文〔会下ほか〕1993年	十五町北東部・十六町南東部・針小路の調査。平安後期～鎌倉の針小路溝、平安後期～鎌倉の溝・井戸・柱穴・土壇を検出。	
49	九条二坊十六町	北ノ内町	市埋文〔菅田〕1992年	十六町北東部の調査。平安後期～鎌倉の土壇、室町の柱穴・井戸・土壇・池を検出。	
50		鳥居口町	市埋文〔菅田〕1990～91年	十六町南西部の調査。平安後期の区画溝・柵列・柱穴・土壇、鎌倉～室町の井戸・柱穴を検出。	
51	九条三坊二町	九条院町	市埋文〔小森ほか〕1997～98年	二町西半部の調査。平安後期の針小路路面・池・柱穴・土壇、鎌倉の井戸・耕作関係溝を検出。	
52	九条三坊十五町・鳥丸小路	山王町・東塩小路町(地下鉄鳥丸線)	平安京〔小森ほか〕1985年	十五町西辺の調査。平安の鳥丸小路東側溝・曲物井戸・中期の土壇、平安後期～鎌倉の土壇・柱穴を検出。	
53	九条三坊十六町	西山王町(アパシティⅠ～Ⅵトレ)	市埋文〔辻ほか〕1979～80年	十六町中央部の調査。平安～室町の井戸・建物・溝を検出。	
54		西山王町(アパシティⅦトレ)	市埋文〔丸川ほか〕1981年	十六町南東部の調査。平安以前の流路を後期に整地。鎌倉～室町の建物・井戸・土壇・溝を検出。	平安後期・室町の鑄造関係遺物(仏像・仏具・鑄埴塼、轆羽口)が出土。

表註 調査機関は以下のように略した。
市埋文：(財)京都市埋蔵文化財研究所、古代学：古代学協会、平安京：平安京調査会、古代文化：古代文化調査会、
鳥丸線：京都市高速鉄道鳥丸線内遺跡調査会

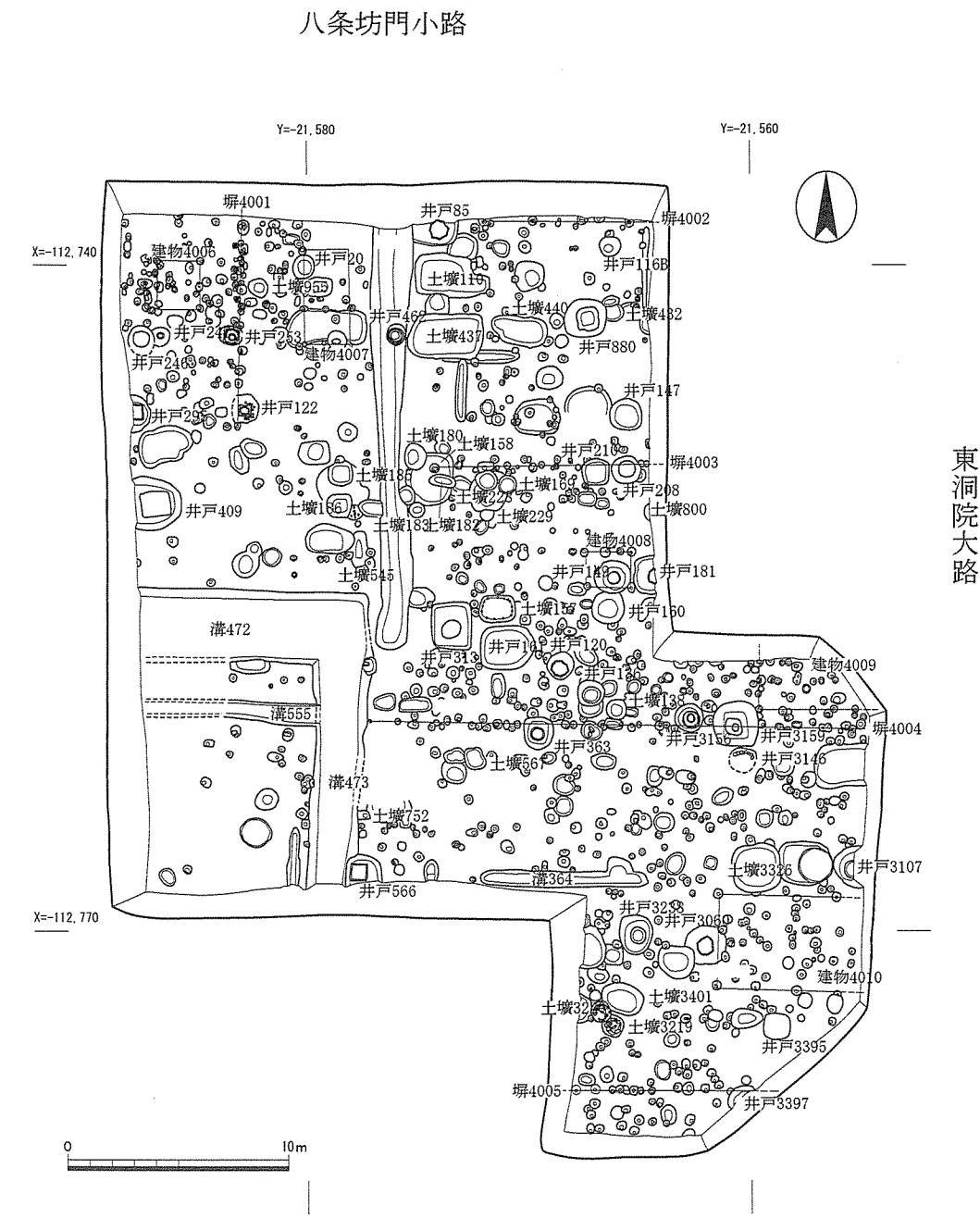


図4 平安京左京八条三坊十四町北東部 調査地〔No. 37〕遺構配置図 (1:300)

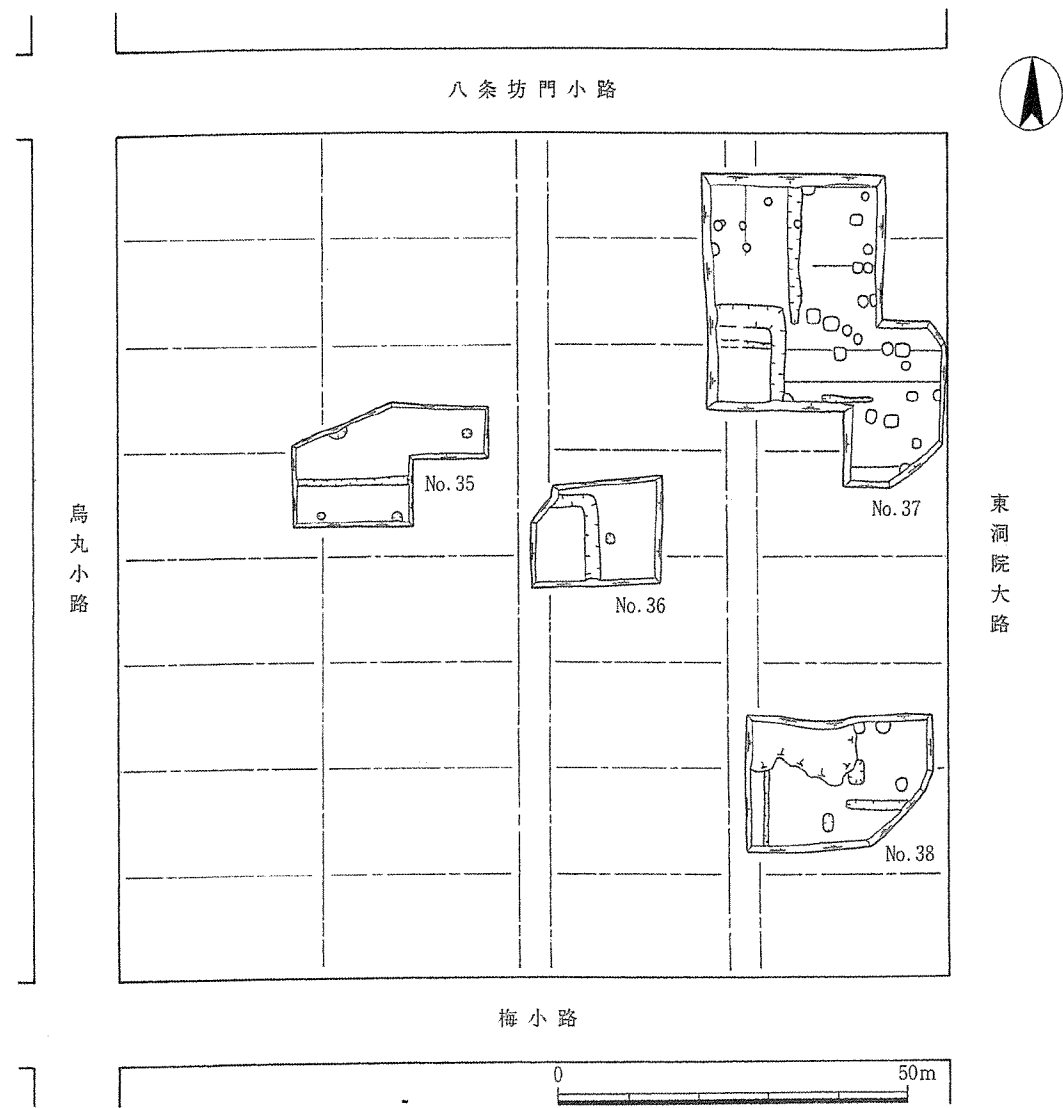


図5 十四町 調査地位置図 (1:1000)

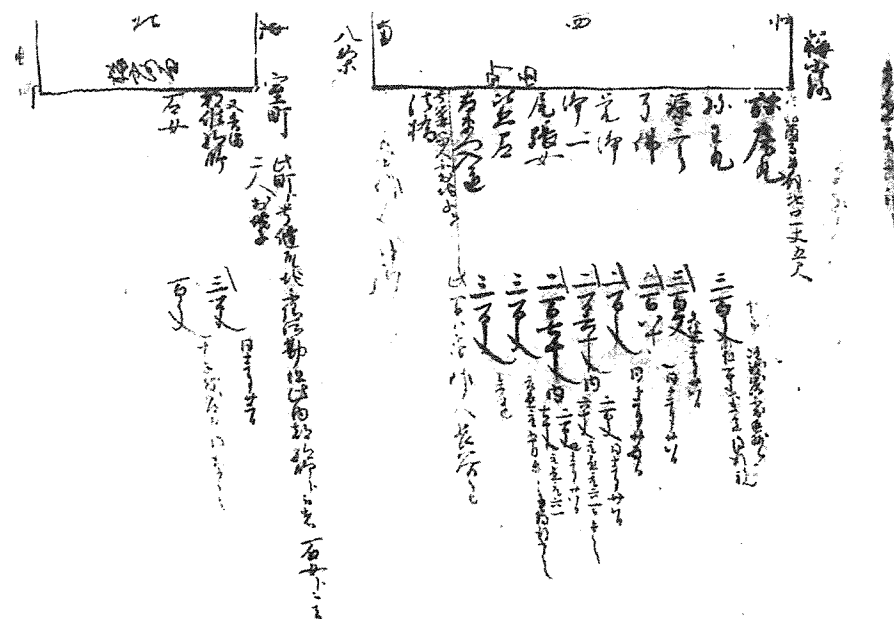


図6 元應元年(1319)八条院町 地子帳

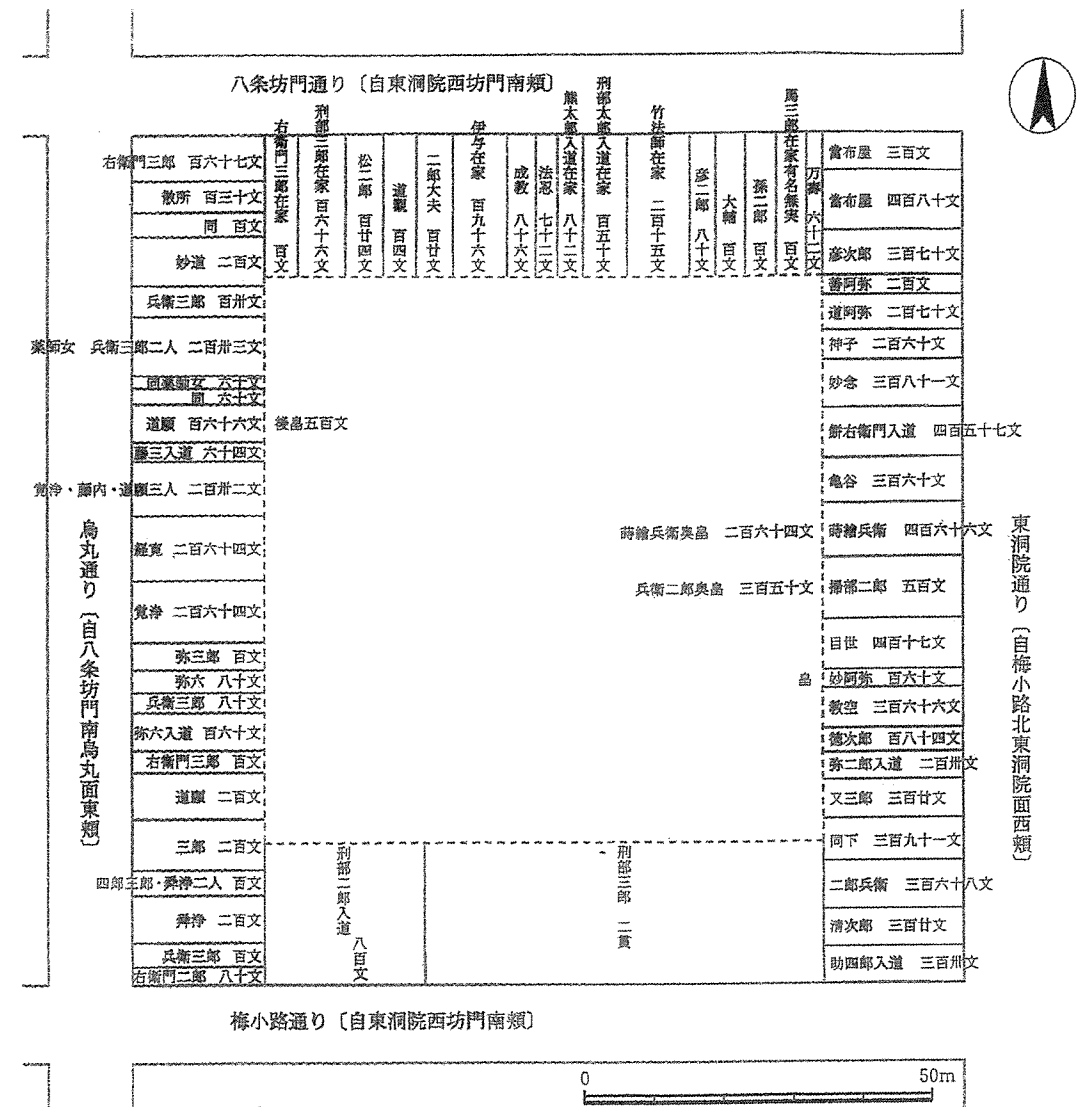


図7 延文二年(1357)十四町 宅地推定図(1:1000)

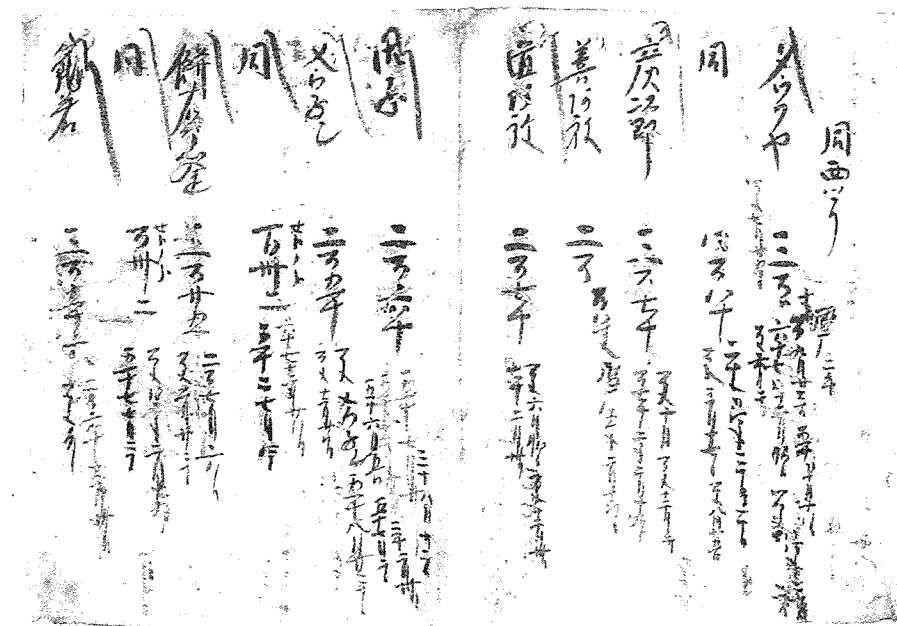


図8 建武元年(1313)八条院町 年貢散用状

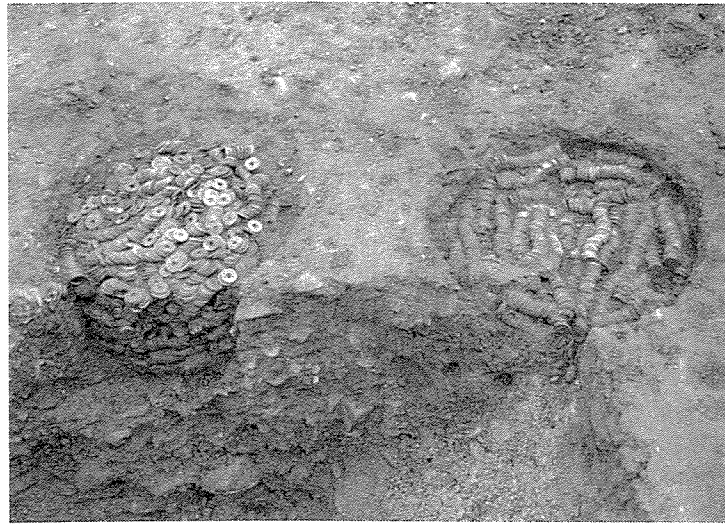


図9 No. 28 銭貨埋納遺構



図10 病草紙「肥満の女」(鎌倉時代)



図13 No. 28 刀装具 鋳型



図14 No. 26 仏具 鋳型

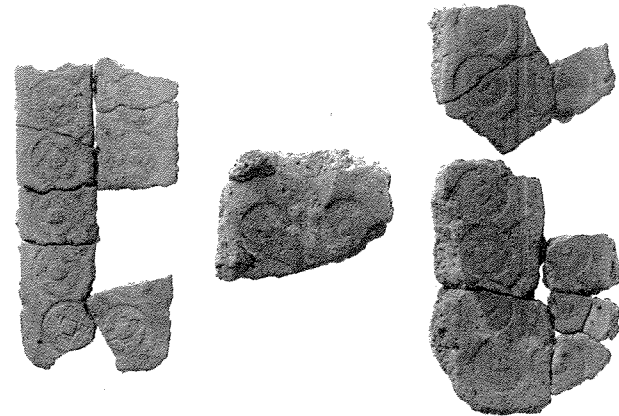


図11 No. 22 銭貨 鋳型



図12 No. 22 鏡 鋳型



図15 No. 26 銅磬 鋳型